



目 次

♥ 1	こんな声が聞こえています	1
♥ 2	たのしく子育てをしている地域には、こんなしかけもあるのです	2
♥ 3	なぜ、地域みんなで家庭教育を支援することが必要なの?	3
♥ 4	子育て支援者を見つけよう	5
♥ 5	子育て支援者を応援しよう	6
♥ 6	こんなことができます	8
♥ 7	コラボで新しい支援を広げよう	10
♥ 8	ともに育ち、つながり続けよう	12
♥ 9	家庭教育支援は地域の未来をつくります	14



■本冊子は、子育て支援コーディネーター（平成22年度地域における子育て支援の仕組みづくり事業）の意見を参考に作成しています。子育て支援コーディネーターは下記で活動しています。活動の詳細は、各市町村教育委員会にお問い合わせください。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| ●青森市子育てサポートセンター
(青 森 市) | ●金木・市浦家庭教育支援チーム
(五 所 川 原 市) |
| ●浪岡子育てサポートセンター
(青 森 市 浪 岡) | ●鱒ヶ沢町子育てサポートセンター
(鱒 ヶ 沢 町) |
| ●今別町子育てサポートセンター
(今 別 町) | ●藤崎町家庭教育支援チーム
(藤 崎 町) |
| ●蓬田村子育て支援チーム
(蓬 田 村) | ●七戸町子育て支援コーディネーター
(七 戸 町) |
| ●外ヶ浜町蟹田子育てサポートセンター
(外 ヶ 浜 町 蟹 田) | ●横浜町家庭教育支援チーム
(横 浜 町) |
| ●外ヶ浜町平舘子育てサポートセンター
(外 ヶ 浜 町 平 舘) | ●三条小学校区家庭教育支援チーム
(八 戸 市) |
| ●外ヶ浜町三厩子育てサポートセンター
(外 ヶ 浜 町 三 厩) | ●城北小学校区家庭教育支援チーム
(八 戸 市) |
| ●五所川原家庭教育支援チーム
(五 所 川 原 市) | ●階上町家庭教育支援チーム(ほっとぽっと)
(階 上 町) |

1

こんな声が聞こえてきます



子どもが私にとっても反抗的です、誰かに相談したいけど、こんな事で相談するのは大げさかしら…。

ご近所に同じくらいのお子さんを持つお母さんがいなくて…話し相手が欲しいわ。

夫婦共稼ぎで、学校から帰った子どもが一人なので心配…、だれか見守ってくれる人がいてくれたらいいのに…。

最近の子どもは礼儀がなってない、親のしつけがよくないのよ。

最近の親は過保護で、過干渉、自分の子どもの言うことにしか耳を貸さない。

うちのクラスの生徒でいつも眠そうな子がいる、一体何時に寝かせているのかしら…。

などなど…。



たのしく子育てをしている保護者のいる地域では、こんな声が聞こえてきます

毎日、息子とふたりきりで、子育てに不安でいっぱいだった。サポーターさんの「大丈夫だよ」の一言がうれしかった。

自分の子育ては「これでよし!」と思っていたけれど、そうではなかった。今日の話は目からウロコ。

ママ友達ことができました。みんなの話を聞いて、「これでいいんだ」と子育てに自信が持てました。

初めての小学校生活に不安だったけど、先輩ママを通じて、小学校の情報が聞けて心に余裕ができました。

若い人たちの子育てに、何か手伝えることはないかな。

太郎くんは、挨拶が上手ね。子育てがんばってるわね。



たのしく子育てをしている地域には、 こんなしかけもあるのです



それは、行政が子育て支援者とともに、地域みんなで家庭教育を支援する取組を進めているからなのです。

子育て支援者とは、子育て中の親を支援している個人や団体のことです。



子育て支援者は



保護者の「生の声」を踏まえて、ニーズを把握した支援をすることができます。

親同士で気軽に話せる機会があったらな

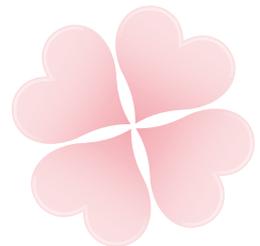
よし！
子育てサロンを開こう



保護者の心や気持ちに寄り添って、一緒に考えます。そして、保護者の主体的な学びや育ちを継続して応援することができます。



親同士をつなぎ、その関係を広げ、人と人とのつながりを築くことができます。



3

なぜ、地域みんなで 家庭教育を支援することが必要なの？



家庭教育は子どもの育ちにとっても大事



現在、1ページのように家庭教育に自信がないなど、保護者の不安の声を耳にします。また、育児放棄や虐待といった深刻な問題が跡を絶たず、子どもの育ちの基礎となる家庭教育の重要性が叫ばれています。



子育てを支える地域の環境が崩れている



近年の少子化や核家族化、都市化、地域の人々とのつながりの減少により、親自身が子育てにつながる体験が少なく、身近な人から家庭教育を学ぶ機会も少なくなっています。また、1ページのように、世代間の意識の違いから、子育てについて親だけを責める地域の声を耳にします。



子育てを支える環境をつくることは社会の責任



子育ては個々の家庭だけの責任ではありません。親が自信を持って家庭教育を行うためには、親自身が豊かな体験をし、子育てを支える温かな人間関係をつくるなど、地域みんなで家庭教育を支えることが必要なのです。

家庭教育とは

親やこれに準ずる人が子どもに対して行う教育のことです。

家庭は子どもの心のよりどころであり、子どもが出会う最小単位の社会でもあります。そして、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的マナーなどを身につける上で重要な役割を担っています。



「地域みんなで家庭教育を支える」一つの提案



そこで、「地域みんなで家庭教育を支える」取組の一つとして、行政と子育て支援者の連携を進めました。

多様化する親の支援ニーズに対応したり、地域とのつながりを促進するには、行政だけの取組には限界があり、2ページのような特徴がある子育て支援者との連携が効果的だからです。



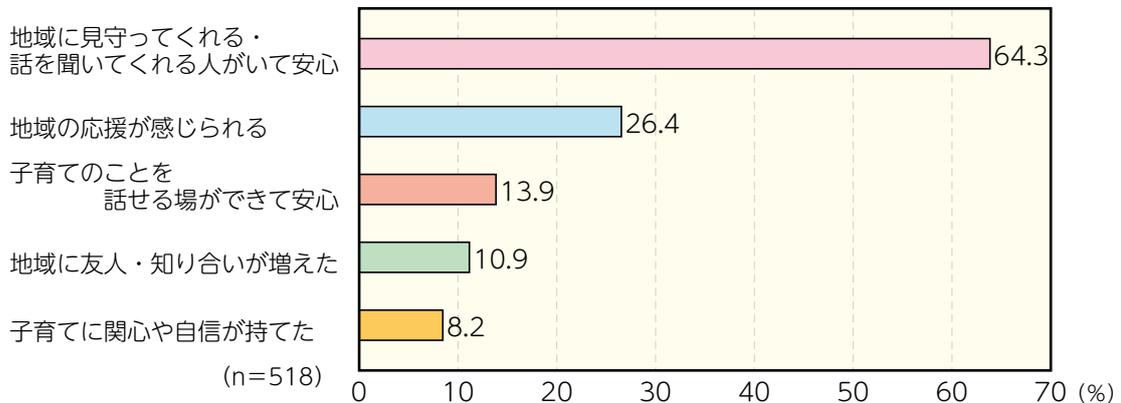
しかけは「つながる・つなぐ」



この取組では、子育て支援者は、親と地域のつなぎ手の役割を担っています。地域団体等がつながると、身近な地域に支援の取組が増えます。親同士や親と地域がつながると、子育てを支えあう関係が生まれます。

子育て支援者とともに家庭教育支援を進めている地域では、保護者は子育てに安心感を抱き、地域との良好な関係が築き始めています。

子育て支援者への保護者の評価



(H21 地域における子育て支援に関する調査 青森県教育委員会)
対象 小学1・2年生の保護者



**さあ、あなたの地域でも
しかけてみよう。**

「子育て支援者がいない」、「どんな活動ができるかわからない」、「連携の仕方がわからない」。

こんな悩みがあるあなた！
今すぐ5ページにGO。



4 子育て支援者を見つけよう



まずはじめに、家庭教育支援の取組と一緒に進める子育て支援者を見つけましょう。あなたの地域にこんな人たちはいませんか？「思い」のある人は誰でも支援者になれます。呼びかけてみましょう。

例えば

子どもたちに
昔の遊びを教えたい



子育ての
楽しさを伝えたい



親も子も笑顔になる
活動がしたい



親子に読み聞かせ
してあげたいわ



子育て支援者は誰にでもできます！ ～わたしのきっかけ～



自分が子育てをしているときは、団地のママさんと仲良しになり、わいわい過ごして楽しく子育てができました。

子育ての楽しさを伝えたくて、子育て支援者になってみようと思いました。



私たちの子どもの頃は、手作りのおもちゃをつくりながら朝から晩まで友達と遊んだものです。その中で、優しさや思いやりも知りました。遊びの楽しさを伝えたくて、親子のために何かできないかと思いました。

子育てサークルに所属していたとき、子育て支援者の方たちが時々サークル支援に来てくれました。会員だけの集いもいいけど、先輩ママがいるとほっとして、安心感が増しました。私も子育て支援者になりたいと思って今年から始めました。



5 子育て支援者を応援しよう



ちょっとした行政の応援が、「思い」のある人を子育て支援者に変えていきます。
できることからやってみましょう。



1 活動拠点



活動拠点をみつけましょう。

活動の拠点があると、子育て支援者は安心して活動をすることができます。

公民館の一室やコーナーなど、定期的に、自由に使えるスペースを用意してあげましょう。



2 仲間づくり



子育て支援者の仲間づくりをすすめましょう。

個人より複数での活動は心強いものです。

仲間ができれば、活動の目標を立てましょう。
考えていることやしたいことを引き出し、子育て支援者同士が思いを共有することで、円滑な活動につながります。



3 伝える



子育て支援者の存在が地域に知られていないと、なかなか活動しにくいものです。子育て支援者とその活動をPRしましょう。また、名刺や活動紹介のチラシを持たせることも効果的です。

子育て支援者が活動をしたときは、その様子や効果をPRすると、広く地域に信頼されていきます。





4 活動のきっかけをつくる



地域での活動のきっかけとして、支援者の出番をつくってあげましょう。例えば、家庭教育講座の受付や幼児健診のサポートなどです。

活動に慣れてきたら、思い切って講座の企画などをらせてみましょう。子育て支援者が、自ら講座の企画や運営などができるようになります。



5 活動を振り返る



活動の振り返りの必要性を伝えましょう。活動終了後には、よかったことや改善したいことなどを出し合い評価し、活動の成果を次の活動につなげるようにします。また、行政が、少しでもほめてあげると励みになります。



6 学びの場をつくる



活動をしていくと、「もっと企画力をつけたい」などの声が子育て支援者から聞かれます。スキルアップのために学習の場をつくりましょう。

学びたい内容にあった研修会の情報を提供したり、講師を紹介するのもよいでしょう。講師には、保健師や養護教諭など、比較的身近な人材も活用できます。また、近隣市町村で活動している子育て支援者から話を聞くこともよいです。



研修機会あれこれ ～県の機関等を利用しよう

- | | |
|----------------------|---|
| ● 家庭教育支援者の養成講座に参加したい | 青森県総合社会教育センター
☎ 017-739-1253
8:30~17:15 (年末年始祝日休) |
| ● 研修会の情報がほしい | 青森県総合社会教育センター1階
インフォメーションプラザありす
☎ 017-739-0900
9:15~16:45
(年末年始祝日及び毎月第4月曜休) |
| ● 講師を紹介してほしい | |
| ● 団体の運営等に関する相談をしたい | |
| ● 子育て支援団体について知りたい | 青森県子ども家庭支援センター
☎ 017-732-1011
9:00~17:00 (年末年始及び毎週水曜休) |

6 こんなことができます



子育て支援者の企画で、このような家庭教育支援の取組ができます。

子育てサロンの開催

子育て中の保護者が交流と情報交換ができる場を提供します。



- 参加者がリフレッシュして子育てを楽しむことができます。
- 多くの子どもを見ることで、自分の子どもの成長を知ることができます。



〔蓬田村〕

情報紙の作成・発行

地域の人に家庭教育の情報を提供します。



- 子育て中の保護者や家庭教育を支援する人たちに、身近な地域の情報などを提供することができます。
- 家庭教育支援の活動を地域に伝えることができます。



〔青森市浪岡〕





家庭教育講座の企画

子育て中の親へ家庭教育の学習を提供します。



- 参加者が家庭教育に関する知識を得ることができます。
- 参加者が自分の子育てを振り返り、気づきを得ることができます。



〔外ヶ浜町三蔵〕



気軽な相談対応

子育てのちょっとした悩みの相談に応じます。



- 子育てのちょっとした悩みが解消されます。
- 何度でも気軽に相談でき、継続して対応することができます。



〔藤崎町〕



7 コラボ^(※)で新しい支援を広げよう



※コラボ=出会いとつながり

子育て支援者と地域団体等との連携を進めると、さらに様々な支援の取組が地域に生まれます。行政は、子育て支援者が地域団体等とつながるようはじめての出会いを支援しましょう。

小学校×子育て支援者×親 参観日出前型子育てサロン



小学生の親が交流します。参観日のついでに参加できます

〔外ヶ浜町平館〕

小学校×子育て支援者×地域の人 参観日特設子ども教室(託児)



親が子どもの育ちについて先生とゆっくり懇談できます

〔青森市浪岡〕

保健福祉部局×子育て支援者 乳幼児健診での講座



保健福祉部局との連携で講座や体験のプログラムが増えます

〔青森市浪岡〕

地域の人×子育て支援者 親子で楽しむかんたんレシピ



地域の方の活用で講座や体験のプログラムが増えます

〔八戸市〕

町内会×子育て支援者×親子

親子でかかしづくり



若い世代が地域の行事を盛り上げます

〔鱸ヶ沢町〕

公民館×子育て支援者×地域の団体×高校生

親とこどものまつり



世代間交流ができ、みんなで子育てを応援します

〔五所川原市金木〕

PTA研修委員×子育て支援者

PTA研修委員交流会



家庭教育講座を企画する人が増えます

〔青森市〕

図書館×子育て支援者×中学生

中学生の読み聞かせ体験



中学生が子育ての経験をすることができます

〔七戸町〕

◆ ◆ ◆ ◆ こんな活動もあります ◆ ◆ ◆ ◆

- ◆ 行政×学校×子育て支援者＝家庭訪問による情報提供と相談対応（横浜町・八戸市）
- ◆ 各種相談機関×子育て支援者＝個別の相談対応、対応のつなぎ（五所川原市）
- ◆ 企業×子育て支援者＝ショッピングセンター内でのサロンや相談（五所川原市）
- ◆ 地域の人×子育て支援者＝地域の人による情報紙のコラム（鱸ヶ沢町）
- ◆ 地域の高齢者×子育て支援者＝高齢者の知恵を生かした講座（今別町）
- ◆ 子育てサークル×子育て支援者＝サークル活動の支援（外ヶ浜町蟹田）
- ◆ 子ども会×子育て支援者＝子ども会活性化の支援（階上町）
- ◆ 防犯協会×子育て支援者＝夜間パトロール（外ヶ浜町三厩）

8

ともに育ち、つながり続けよう



行政と子育て支援者がともに地域のつながりづくりを進めていくことで、地域みんなでの家庭教育支援へと広がっていきます。取組を通じて、親、子育て支援者、地域、行政からうれしい声が聞こえています。今後もそれぞれの役割を果たしながら、つながりを続けたいものです。

情報紙を見て家庭教育支援の活動に気づきました。**私にも何かできるかな。**

子育て支援者は**とてもいい活動**をしている。町内会でも応援したい。

共催のイベントはとても好評だ。これからも**連携**を続けたい。

子どもの成長を見通せるようになって、**子育てに自信**ができました。サポーターさんに感謝。落ち着いたら、**私も支援に関わり**たいな。

子育ての悩みを話したとき、交流会に参加していたお母さんたちが「**大丈夫、私もだよ**」とたくさんの励ましや体験を教えてくださいました。**支えてくれる人がいてとてもうれしかった。**



子育て中のママたちに**笑顔**が多くなったことがうれしいです。私たちも**元気**をもらっています。

地域の団体等と少しずつつながりをつくりました。**顔の見える関係**になると、思いが共有されて**様々な形で支援が実現**されました。これからも少しずつ「地域みんなで家庭教育支援」を広げたいです。

子育て支援者の企画で、**講座に参加する親が増え**ました。参加者が元気になったような気がします。

子育て支援者が**地域の支援の重要な担い手**になりました。子育て支援者をつなぎ手に**地域団体等が協力し始めて**います。また、支援に関わる地域住民も増えてきました。

今後の連携や支援の取組を続けるために、こんなことが考えられます。



1 つながりを広げる・深める



行政は、地域の気運を醸成しつつ、地域課題に応じた「地域みんなで家庭教育を支える」取組を進めるため、予算措置も含めて子育て支援者と連携した取組を広げましょう。

子育て支援者は、新たな連携による取組ができないかを考えてみましょう。例えば、親や学生に参画してもらい、違う視点から取組を考えることができます。

また、行政や地域団体等との連携を継続するために、研修を通じて団体としての力をつけておきましょう。活動目的を明確にして身の丈にあった活動を整理することや、マネジメント力をつけることが大切です。



2 次世代の支援者を育てる



行政と子育て支援者が連携して、次の世代の支援者を育てましょう。例えば、子育て支援者の養成講座を企画・実施するほか、子育て支援者としての活動で力をつける、子育てサークルを支援するなどの方法があります。



3 同じ目的を持った仲間を結ぶ



同じ目的を持った仲間を結び、連携を形にしましょう。例えば、様々な団体等で構成する協議会や子育て支援者のネットワークなどです。これらは、子どもの成長を見通すなどの情報共有のほか、地域課題の解決の場にもなります。行政が場の設定や会の運営の相談など、側面支援することが必要です。





9 家庭教育支援は地域の未来をつくります



家庭教育支援の活動は、支援する人・される人の一方通行の活動ではなく、地域のたくさんの人が関わることで、人と人がつながっていく活動です。支援を受けた親が支援する側になったり、その子どもたちがさらなる支援者として活動に関わったり、**支えあう関係を育み循環しながら、地域みんなで家庭教育を支援するまちづくり**や広く地域づくりの活動につながっていきます。



みんなでつながる家庭教育支援 -地域へのしかけづくり-

【平成23年3月発行】

発行：青森県教育庁生涯学習課 青森市新町二丁目3-1 ☎ 017-734-9890

監修：深作 拓郎（弘前大学生涯学習教育研究センター講師）
清野眞由美（NPO法人弘前こどもコミュニティ・ぴーぶる代表理事）
中村由美子（青森県立保健大学健康科学部教授）

編集委員：阿部 陽子（青森市教育委員会浪岡教育事務所主幹） 兼岡 正英（鱒ヶ沢町教育委員会副参事）
大釜 啓伸（階上町教育委員会社会教育主事） 木村 俊秀（東青教育事務所社会教育主事）
小笠原洋二（西北教育事務所社会教育主事） 石沢 正彦（三八教育事務所社会教育主事）
（順不同、敬称略、所属は平成23年3月のものです。）

この冊子は、青森県教育庁生涯学習課ホームページ〈あおもりの生涯学習-楽しむ 高める 生かす-〉からダウンロードできます。

この印刷物は300冊作成し、印刷経費は一部あたり1,155円です。